

小倉百人一首文芸苑

小倉百人一首

歌碑建立事業



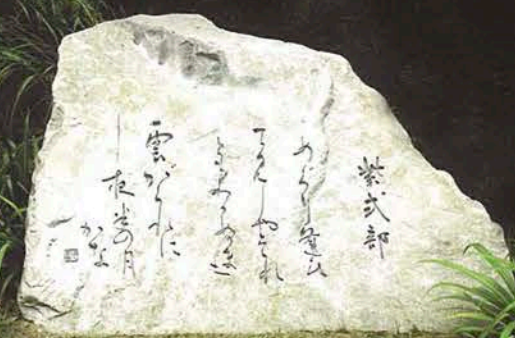
財団法人 小倉百人一首文化財団

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所内
TEL:075-212-6451 FAX:075-255-0428 E-mail:ogura@kyo.or.jp

3つのイメージを統合するシンボルマーク

日本の古代色のグラデーション、京の条坊制と半導体マイクロチップを想起させるデザインで「伝統のかたち」「古都のかたち」「未来のかたち」を統合的に表現しています。

表紙題字：日比野光鳳



小倉百人一首文芸苑

歌碑建立 絵巻図

歌碑の配置

歌碑の配置については、藤原定家が定めた歌の順番に設置しました。これは当時、定家が季節・恋・時間・草花などを巧みに使い分け、並べ方に工夫を凝らしたといわれていることから、定家が編纂した1～100番までの並べ方を尊重し、来訪者にも見学しやすい計画としています。

ひとつひとつの歌碑は、自然景観の雰囲気を守りながら、各場所それぞれの地形、木立、視線の見通し、借景などを入念に検討し、設置しました。

石の選定

歌碑に使用する石材は、歴史的な地域の自然景観を損なわないように、あたかもそこに石があったかのような景観を作り出すために自然石を用い、石の選定にあたっては、京都を代表する貴船石、鴨川石、鞍馬石などの銘石をはじめ、全国各地からも銘石と呼ばれる天然の石を収集し、取り入れました。

歌碑の書

歌碑の書の揮毫は、百人一首の品格とかなの文化を今の時代に伝えるために、京都にゆかりの深い書家を中心に、全国的に著名な書家に依頼しました。

書は、平安時代からの流麗典雅な美しい「かな書」の風雅を活かしながら、一般の方々に読みやすいように書いていただきました。漢字の草書や変体仮名の使用をできるだけ避け、歌碑の書を見る方に百人一首の歌がすらすら出るように、書家に特別の配慮をお願いしました。

歌碑周辺の整備

小倉百人一首文芸苑が、来訪者から明確にわかるよう、各場所それぞれに、必要に応じて植栽の整備や竹穂垣の設置、園路整備などを行い、見学しやすい施設としています。特に、植栽整備については、自然と歴史に彩られた風土・景観に調和するよう配慮しました。

小倉山麓に広がる嵐山・嵯峨野地域を舞台に、小倉百人一首を総合的に学び、体験できる屋外の施設として、小倉百人一首を構成する10の勅撰和歌集ごとに、京都府・京都市の協力を得て、5箇所の公園・公有地に設置しました。

この地域は、わが国有数の史跡名勝指定地であり、その歴史性、文化的価値を守りながら、地域特性や周辺景観との融合を図りつつ、伝統的な造園技術を駆使して計画を実現しています。歌碑に用いる石材は自然石として、全国の銘石を集め、書においては京

都を中心に、日本を代表する書家の方々に協力を得て揮毫いただきました。建立する各地区の周辺整備においては、特に樹木の設えなどに充分配慮し、小倉百人一首文芸苑としてふさわしい空間に仕上がっています。

自然景観や社寺、名所旧跡恵まれた、京都 嵐山・嵯峨野地域



亀山地区

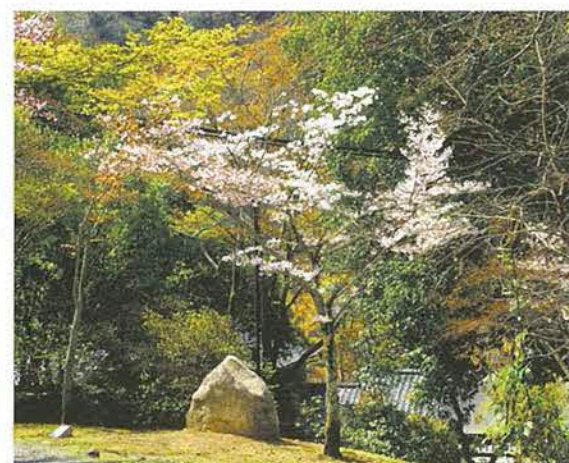
かめやまちく



正式名は、京都府立嵐山公園（亀山地区）というが、公園内の高台に亀山天皇を含む3天皇が奉られているため、亀山公園と通称される。桜や紅葉といった四季折々の樹々と起伏の多い地形は、嵐山・嵯峨野の自然風土に調和した景観となっている。亀山地区の豊かな自然を感じながら、百人一首に詠まれた四季の移ろいや風情ある景観に思いを馳せて欲しい。



園内は桜や紅葉が
季節を彩る



嵐山・嵯峨野の自然風土と調和した
公園は、四季折々の表情を持つ



□は歌番号、()は歴史の書を再現



5 歌人：猿丸大夫
書家：日比野光鳳
寄付：松波善明



7 歌人：安倍仲磨
書家：(日比野五鳳)
寄付：大和証券(株)



8 歌人：喜撰法師
書家：(松花堂昭乗)
寄付：(株)福寿園



9 歌人：小野小町
書家：土橋靖子
寄付：京都信用金庫



11 歌人：参議 篁
書家：高木聖鶴
寄付：(株)松原興産



12 歌人：僧正 遍昭
書家：黒田賢一
寄付：松下電器産業(株)



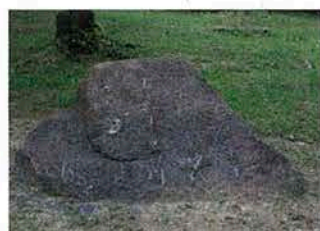
14 歌人：河原左大臣
書家：三宅相舟
寄付：吉忠グループ



15 歌人：光孝天皇
書家：辻 絢子
寄付：オムロン(株)



16 歌人：中納言行平
書家：後藤秀園
寄付：上田商事(株)



17 歌人：在原業平朝臣
書家：横山 煌平
寄付：(株)デンケン



18 歌人：藤原敏行朝臣
書家：杭迫 柏樹
寄付：ワタキューセイモア(株)



21 歌人：素性法師
書家：吉見 靖子
寄付：ダイキン工業(株)



22 歌人：文屋康秀
書家：日比野 実
寄付：(学)立命館



23 歌人：大江千里
書家：杭迫 柏樹
寄付：京都青果合同(株)



24 歌人：菅 家
書家：黒野 清宇
寄付：(株)成基学園



28 歌人：源宗千朝臣
書家：宮重 小蘭
寄付：(株)イシダ



29 歌人：凡河内躬恒
書家：下伊豆 博子
寄付：(株)公益社



30 歌人：壬生 忠岑
書家：村上 俄山
寄付：勝本 賢志



31 歌人：坂上 是則
書家：赤江 華城
寄付：勝本 啓次



32 歌人：春道 列樹
書家：桑田 三舟
寄付：京都駅ビルグループ



33 歌人：紀 友則
書家：後藤 西香
寄付：野村證券(株)



34 歌人：藤原興風
書家：藤本 玲舟
寄付：福田 吉孝



35 歌人：紀 貫之
書家：池田 桂鳳
寄付：ワタベウエディング(株)



36 歌人：清原深養父
書家：橋本 烽玉
寄付：(株)京 進



3 歌人：柿本人麻呂
書家：(本阿弥光悦)
寄付：京都中央信用金庫



26 歌人：貞 信 公
書家：万殿 伸昭
寄付：(株)京都センチュリーホテル



38 歌人：右 近
書家：大西 きくゑ
寄付：勝本 京子



40 歌人：平 兼盛
書家：光宗 道子
寄付：日東薬品工業(株)



41 歌人：壬生 忠見
書家：勝瀬 景流
寄付：(株)KSAインターナショナル



43 歌人：権中納言敦忠
書家：日比野 光鳳
寄付：京都府立京都第二高女同窓会



44 歌人：中納言朝忠
書家：芳竹 鳳雪
寄付：(株)中央倉庫



45 歌人：謙 徳 公
書家：石田 廣子
寄付：北尾 利久



47 歌人：恵慶法師
書家：増川 白陽
寄付：NTTグループ企業・関連企業



53 歌人：右大将道綱母
書家：芳竹 鳳雪
寄付：京都ブライホテル(株)



55 歌人：大納言公任
書家：加藤 善浄
寄付：日本テレネット(株)



君がため
春の野に出でて
若菜つむ
わが衣手に
雪はふりつ

小倉山
峰のむら葉
心あらば
今ひとたびの
みゆき待たなむ

吹くからに
秋の草木の
むらさきば
嵐の山風を
むらさき

□は歌番号

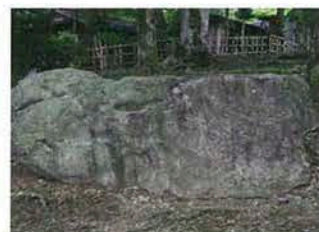
後拾遺集 ごしゅういしゅう



42 歌人：清原元輔
書家：日比野光鳳
寄付：(株)西利



50 歌人：藤原義孝
書家：榎倉香邨
寄付：佐川急便(株)



51 歌人：藤原実方朝臣
書家：尾上桂州
寄付：(株)村田製作所



52 歌人：藤原道信朝臣
書家：高木聖鶴
寄付：村田機械(株)



56 歌人：和泉式部
書家：中路佳保里
寄付：立木貞昭



58 歌人：大式三位
書家：上林三玲
寄付：明成化学工業(株)



59 歌人：赤染衛門
書家：石原旺芳
寄付：(株)京都西川



62 歌人：清少納言
書家：橘崎華祥
寄付：(株)トーセ



63 歌人：左京大夫道雅
書家：高木厚人
寄付：京都商工会議所食品・名産部会議員有志



65 歌人：相模
書家：島田雨城
寄付：(株)ワコール



68 歌人：三条院
書家：山田勝香
寄付：(株)松原興産



69 歌人：能因法師
書家：舞鶴緑
寄付：(社)京都産業会館



70 歌人：良暹法師
書家：井茂圭洞
寄付：(株)土井志清本舗



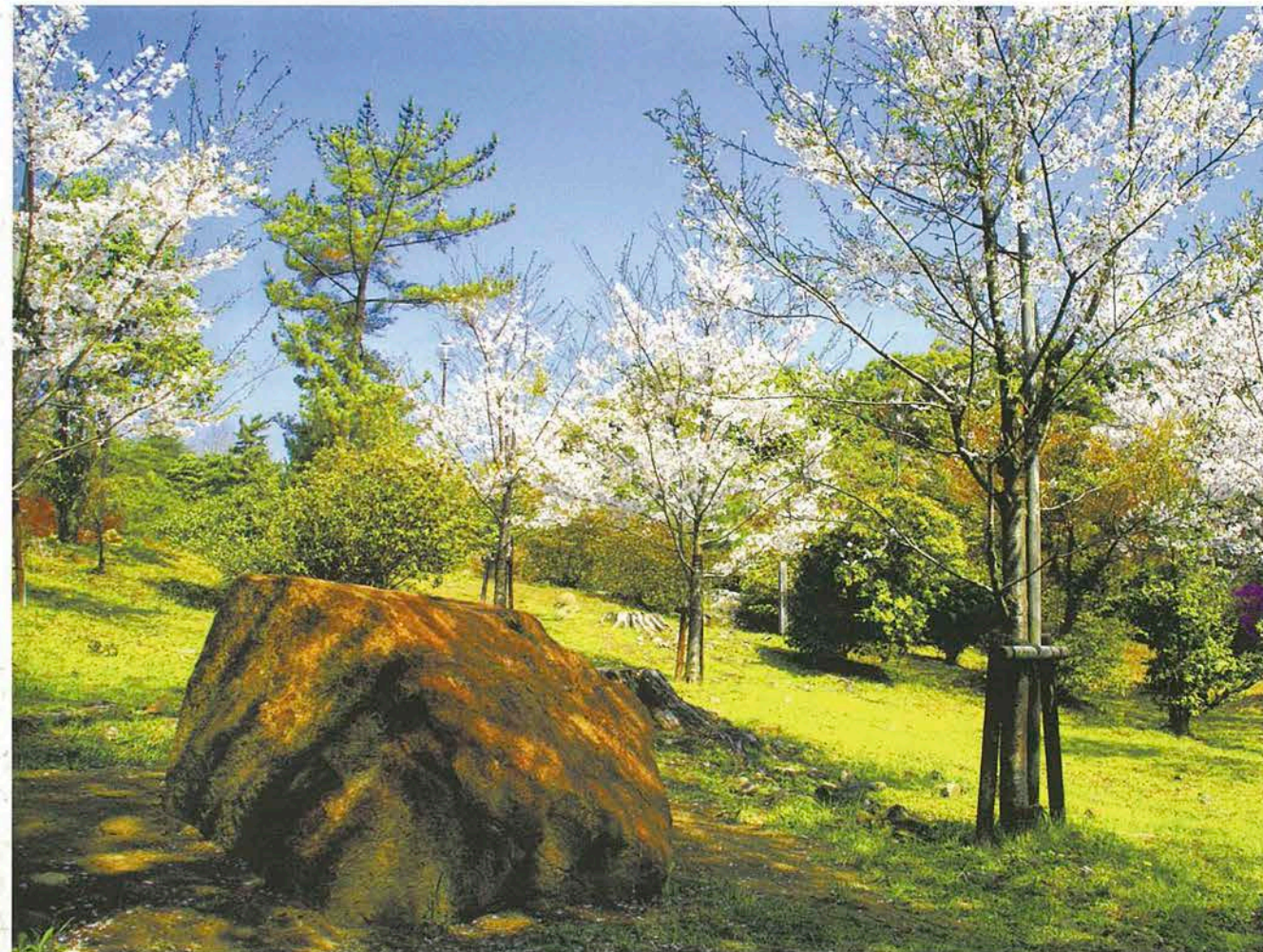
73 歌人：権中納言匡房
書家：清水悦子
寄付：京都薬品工業(株)

夜をこめて
鳥のそらねは
はかるとも
よに逢坂の
関は許さじ

ありま山
猪名の笹原
風吹けば
いでそよ人を
忘れやはする



自然石の石面をそのまま活かし
和歌が刻まれている



古今集 こきんしゅう

小倉百人一首は、古今集から後拾遺集に至る10種の歌集から撰歌されています。そのうち古今集が最も多く、24首が選ばれています。古今集は我が国最初の勅撰集で、醍醐天皇の勅命を受け、延喜5年(905)、紀貫之ら4人を撰者として奏上されました。万葉集以後、約1世紀間にわたる約1100首の歌を収録し、後の和歌集の規範となりました。古今集の歌風は、理知的で技巧的といわれ、江戸時代の国学者である賀茂真淵は、万葉集を「ますらおぶり」、古今集を「たをやめぶり」と表現しています。古今集の歌は初句切・三句切が多く、調べが流麗といわれています。

拾遺集 しゅういしゅう

3番目の勅撰集となる拾遺集は、約1350首の歌を取り、花山院が近臣の藤原長能などの協力を得て、寛弘2年(1005)から4年(1007)の間に撰したといわれています。藤原公任撰の「拾遺抄」の歌を全て取り、構成も踏襲されており、「拾遺抄」を増補して成立したとの説が有力です。花山院の文芸趣味から成立した私撰集的性格を有し、紀貫之や柿本人麻呂が高く評価され、優雅で穏やかな歌趣と趣向によって、優美平坦な余情美の世界をかもし出しています。なお、古今集・後拾遺集・拾遺集の三作品を三代集と称しています。

後拾遺集 ごしゅういしゅう

4番目の勅撰集である後拾遺集は、白河天皇がその側近の藤原通俊に命じて奏させたものです。承保2年(1075)撰集の命を受け、応徳3年(1086)に完成しました。藤原道長・頼道・頼朝の撰歌家の黄金時代を中心に、村上天皇以降11代約130年間の歌、約1200首を収めています。歌風は拾遺集をおおむね踏襲していますが、和泉式部や赤染衛門などの女流歌人が多く採用され、絢爛華麗な傾向を強めています。

後拾遺集 ごしゅういしゅう

神杜 の地区 長

ちょうじんのもりちく



小倉山特別保存地区に位置し、古くから貴族の山荘が構えられ、この付近に鎌倉時代の歌人、藤原定家が小倉百人一首を撰集した時雨亭が存在したと言われている。
小倉山山麓を借景とする緑豊かな空間をゆったり歩きながら、雅な雰囲気を感じたい。



そこは緑あふれる静寂の杜



小倉百人一首撰集の地、
「時雨亭」があったといわれる「小倉山」



□は歌番号

新古今集 しんこきんしゅう



2 歌人：持統天皇
書家：中路佳保里
寄付：京都商工会議所女性会



4 歌人：山部赤人
書家：日比野実
寄付：(株)電通



6 歌人：中納言家持
書家：土橋靖子
寄付：高見(株)



19 歌人：伊勢
書家：薄木嘉子
寄付：村田機械(株)



27 歌人：中納言兼輔
書家：薄木嘉子
寄付：(株)堀場製作所



46 歌人：曾禰好忠
書家：三宅相舟
寄付：神作光一



54 歌人：儀同三司母
書家：山本三千代
寄付：本家ハッ橋西尾(株)



57 歌人：紫式部
書家：日比野光風
寄付：石田源次郎・豊子



79 歌人：左京大夫頭輔
書家：山本万里
寄付：(株)ハトヤ観光



84 歌人：藤原清輔朝臣
書家：清水悦子
寄付：日本写真印刷(株)



87 歌人：寂蓮法師
書家：土岐妍子
寄付：西陣織工業組合



89 歌人：式子内親王
書家：日比野光風
寄付：佛教大学



91 歌人：後京極親政前太政大臣
書家：秋田素鳳
寄付：京阪グループ



94 歌人：参議雅経
書家：吉見靖子
寄付：(株)JTB西日本

ながらば
またこのころや
しのばれむ
愛しと見し世ぞ
今は恋しき

み吉野の
山の秋風
さ夜ふけて
ふるさと寒く
衣うつなり



新古今集 しんこきんしゅう

8番目の勅撰集である新古今集は、後に承久の乱で敗れ、隠岐に配流された後鳥羽上皇が「撰定したもの」で、約2000首の歌が収録されています。その巻数は元久2年(1205)ですが、成立後も上皇が積極的に手を加えています。その歌風は、しみじみとわが余情を露骨に表現した新古今調として、高く評価されています。技巧的には本歌取や体言止、三句切などの技法を縦横に駆使し、華やかな中に寂しさのある美しさを詠み、以後の和歌の世界に多大な影響を与えました。なお、古今集から新古今集までの勅撰集を八代集と称しています。



48 歌人：源重之
書家：秋田素鳳
寄付：ジーク(株)



49 歌人：大中臣能宣
書家：山本三千代
寄付：彌榮自動車(株)

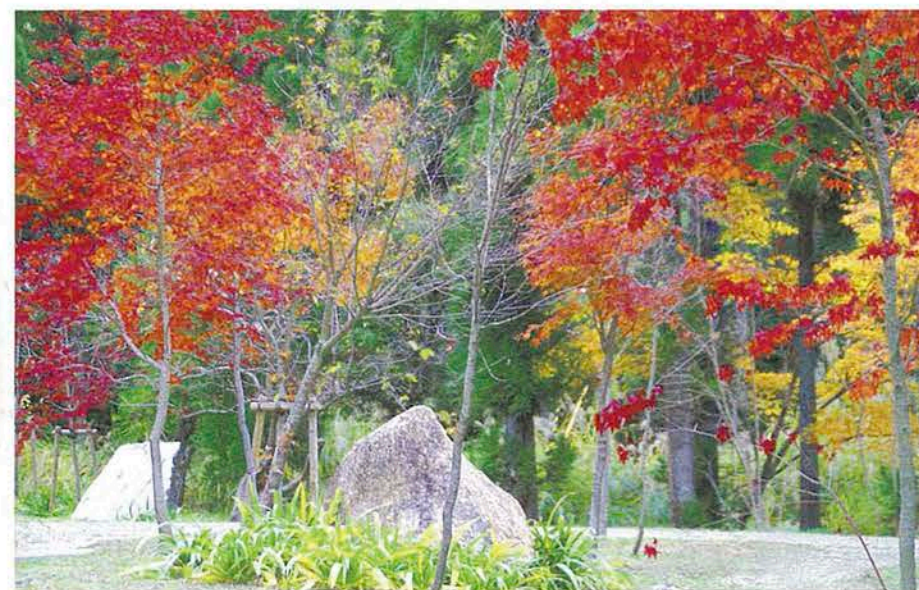


61 歌人：伊勢大輔
書家：土岐妍子
寄付：大阪ガス(株)



76 歌人：法性寺入道
書家：土橋靖子
寄付：(財)日本漢字能力検定協会

小径は、秋には雄大で美しい紅葉のトンネルとなる



77 歌人：崇徳院
書家：日比野実
寄付：日本新薬(株)

いにしへの
奈良の都の
八重桜
けふ九重に
にほひぬるかな

瀬をはやみ
岩にせかるる
滝川の
われても末に
あはむと思ふ

詞花集 しかしゅう

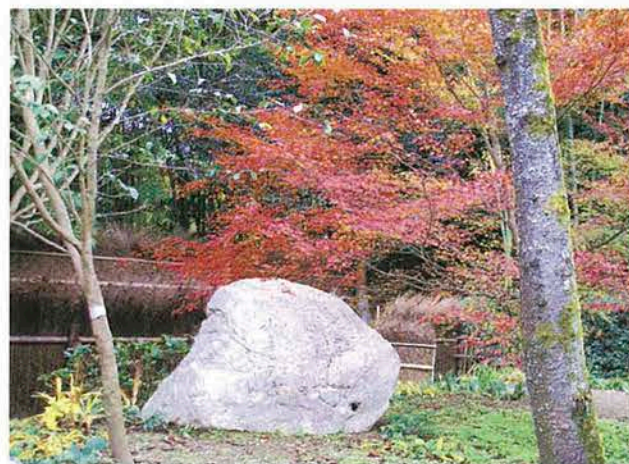
6番目の勅撰集である詞花集は、後に保元の乱で讃岐に配流される、崇徳上皇が藤原頼朝に撰させたもので、仁平元年(1151)に撰進されました。金葉集を範として部類され、収録歌数は勅撰集中最も少ない約400首(精撰本)となっています。この和歌集は、成立後さまざまな反響を呼び、藤原為経(寂超)や藤原教長が論難書を出し非難したりしています。その歌風は、清新な情景歌と詠嘆述懐的な「あはれ」な歌に特色があるといわれています。



野々宮 地区

ののみやちく

野宮神社に続く竹林の参道沿いにあり、嵯峨野巡りの起点として多くの観光客が訪れる。周囲を風光明媚な竹林が覆い、南に桂川、西に小倉山など百人一首の歌枕とされた地が周辺に位置し、ゆかりの深さを感じさせる。



竹林と紅葉の森に囲まれ、その
風情は歴史を感じさせる

□は歌番号、()は歴史の書を再現



93 歌 人：鎌倉右大臣
書 家：大脇 双琳
寄 付：京セラ(株)



96 歌 人：入道前太政大臣
書 家：(平間 長雅)
寄 付：宝酒造(株)



97 歌 人：権中納言定家
書 家：冷泉 為人
寄 付：日本プラスチック製紙(株)



98 歌 人：従二位家隆
書 家：木村 通子
寄 付：堀忠染織(株)

新勅撰集 しんちよくせんしゅう

9番目の勅撰集である新勅撰集は、貞永元年(1232)、後堀河天皇からの勅命を受け、文暦2年(1235)に藤原定家が撰定した歌集で、約1400首が収録されています。承久の乱後の最初の勅撰集であったことから、後鳥羽・土御門・順徳三上皇の歌を一首も載せないなど、政治的配慮から撰者の意向はかなり屈折させられたものでした。その歌風は、平淡優雅な歌を主としており、妖艶華麗な新古今集とは異なる定家晩年の好みが見え反映しているといわれています。

新勅撰集 しんちよくせんしゅう

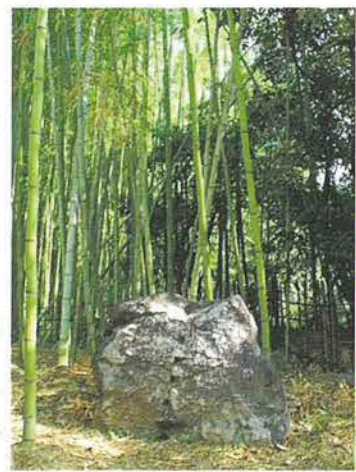
奥野々宮 地区

おくののみやちく

付近には、「源氏物語」賢木の巻にも描かれている古社、野宮神社がある。野宮神社の黒木の鳥居と周囲の紅葉とのコントラストが美しく、野宮神社から大河内山荘へ向かう竹林の道は最も嵯峨野らしい雰囲気がある。



小柴垣と呼ばれる独特の垣根は
周囲の竹林とよく調和している



浅茅生の
小野の篠原
忍ぶれど
あまりてなごか
人の恋しき

わびぬれば
今はた同じ
難波なる
みをつくしても
逢はむと思ふ

□は歌番号、()は歴史的書を再現

後撰集
ごせんしゅう



1 歌人：天智天皇
書家：日比野光鳳
寄付：(株)京都銀行



10 歌人：蟬丸
書家：石田静子
寄付：西日本旅客鉄道(株)



13 歌人：陽成院
書家：池田桂鳳
寄付：(株)わかさ生活



20 歌人：元良親王
書家：山本万里
寄付：(株)きんでん



25 歌人：三条右大臣
書家：(奈良絵本の書)
寄付：大和学園グループ



37 歌人：文屋朝康
書家：(芝山持豊)
寄付：(株)京都ホテル



39 歌人：参議等
書家：三宅相舟
寄付：三宅相舟

後撰集 ごせんしゅう

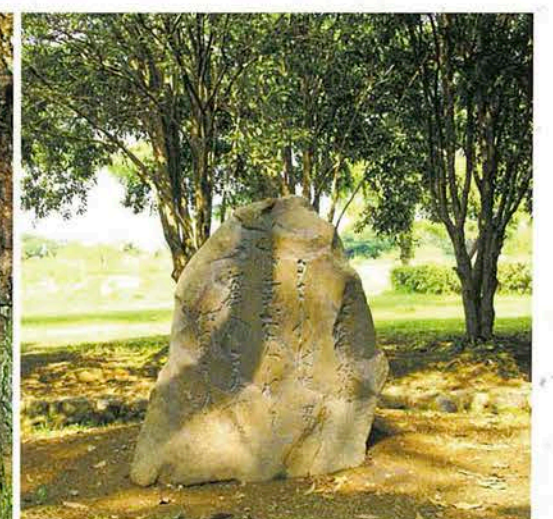
古今集の次に撰定された後撰集は、「梨壺の五人」と称される大中臣能宣・清原元輔・源順・紀時文・坂上望城を撰者とし、天暦5年(951)に村上天皇の勅命を受け、昭陽舎(梨壺)に撰和歌所が置かれました。天暦9年前後に成立し、約1400首の歌からなり、配列順などは古今集を基準にしていますが、古今集に比べ、日常的でくだけた雰囲気があります。恋の贈答歌が多く、藤原氏を中心とする公達たちや、当時の社交界の花形たちが女房(宮中に勤める女性)たちに交わした恋の語らいや逸話が多彩に記されています。

嵐山東 地区

あらしやまひがしちく



嵐山公園中ノ島地区から下流の松尾橋一帯にかけて河川敷に沿って広がる公園。嵐山公園と並んで公園としての歴史は古く、嵐山の自然とうまく調和して四季折々の表情を見せる。公園内には、マツやサクラ、カエデ、エノキ等の美しい木々が生き茂り、おおらかな景観と素朴な雰囲気心がなごむひとときを演出する。



上流部は散策広場として芝生や池などが整備された憩いの場となっている

歌碑は散策道と小川に沿って配置されている



□は歌番号、()は歴史的書を再現

千載集 せんざいしゅう



64 歌 人：権中納言定頼
書 家：(牡丹花宵柏)



67 歌 人：周防内侍
書 家：綾木 鳳南
寄 付：京都商工会議所観光・運輸部会議員有志



74 歌 人：源俊頼朝臣
書 家：岡野 純子



75 歌 人：藤原基俊
書 家：石村 瑞章
寄 付：株式会社アソシエイト



80 歌 人：待賢門院堀河
書 家：日比野 光鳳
寄 付：村田機械(株)



81 歌 人：後徳大寺左大臣
書 家：坂田 朋子
寄 付：京都商工会議所観光部会議員一同



82 歌 人：道因法師
書 家：井場 泉雪



83 歌 人：皇太后宮大夫俊成
書 家：冷泉 貴実子
寄 付：安森 敏隆・淑子



85 歌 人：俊恵法師
書 家：調子 久美子
寄 付：(株)竹中工務店



86 歌 人：西行法師
書 家：杭迫 柏樹
寄 付：(株)フクナガ



88 歌 人：皇嘉門院別当
書 家：池田 桂鳳
寄 付：阪急電鉄(株)



90 歌 人：殷富門院大輔
書 家：本田 香蓉
寄 付：アサヒビール(株)



92 歌 人：二条院讃岐
書 家：小山 素洞
寄 付：清水建設グループ



95 歌 人：前大僧正慈円
書 家：東山 一郎
寄 付：植彌加藤造園(株)

大江山
いく野の道の
遠ければ
まだふみも見ず
天の橋立

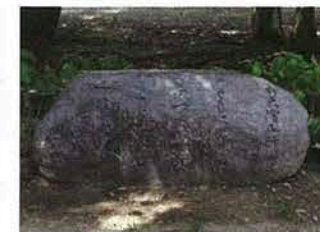
ほととぎす
鳴きつる方を
ながむれば
ただありあけの
月を残れる



人もをし
人もうらめし
あぢきなく
世を思ふゆゑに
物思ふ身は



60 歌 人：小式部内侍
書 家：小山 やす子
寄 付：(株)高台寺和久傳



66 歌 人：前大僧正行尊
書 家：法元 康州
寄 付：(株)三菱東京UFJ銀行



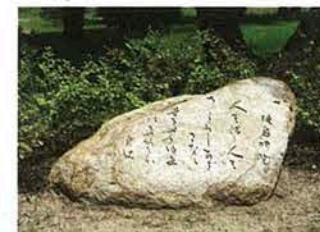
71 歌 人：大納言経信
書 家：座場 井部
寄 付：花堂造園(株)



72 歌 人：祐子内親王家紀伊
書 家：弘岡 有芳
寄 付：京都商工会議所卸売商業部会



78 歌 人：源 兼 昌
書 家：清水 透石
寄 付：京都商工会議所卸売商業部会



99 歌 人：後鳥羽院
書 家：柏村 恭代
寄 付：(株)淡文社



100 歌 人：順徳院
書 家：(建部 伝内)
寄 付：(学)同志社

千載集 せんざいしゅう

7番目の勅撰集である千載集は、藤原定家の父藤原俊成が寿永2年(1183)に後白河上皇の院宣を受け、5年後の文治4年(1188)に撰集したものです。一条天皇からの約200年間を対象とし、約1300首の歌を収録しています。その特徴は、金葉・詞花時代の趣向の滑稽さや奇抜さを抑え、古典的抒情をむねとしつつ、新しく余情幽玄を志向し、述懐的詠嘆的な調子が中心となっています。なお、この歌集には、平清盛の末弟忠盛が都落ちの際に俊成に託した歌が読み人知らずとして採録されるなどのエピソードがあります。

金葉集 きんようしゅう

5番目の勅撰集である金葉集約700首は、白河上皇が院政をされていた時代に源俊賴が撰集したものです。数回の奏上返却を経て、大治元年(1126)にようやく完成されました。金葉とは、「すぐれた言の葉(和歌)」を意味し、白河上皇ゆかりの人達が多く採用され、摂関政治から院政への過渡期を表すように、新しい方向へと屈折する兆候を示しています。源俊賴らが革新的で新鮮な情景歌を詠み、田園的な風趣、新規な用語など、特異な歌風を生んでいます。

続後撰集 しくごせんしゅう

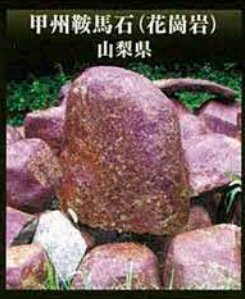
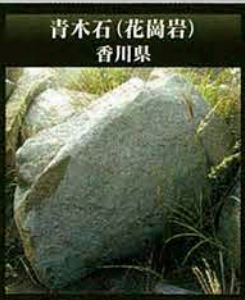
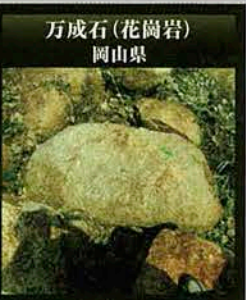
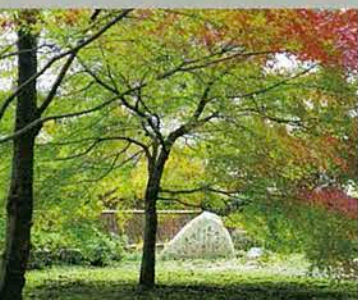
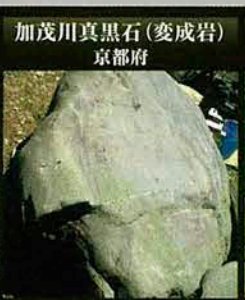
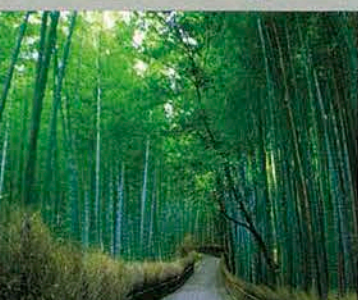
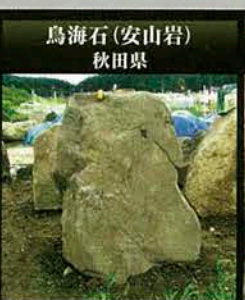
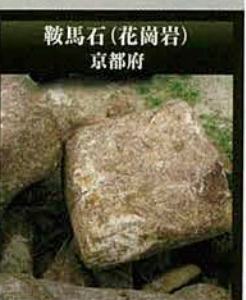
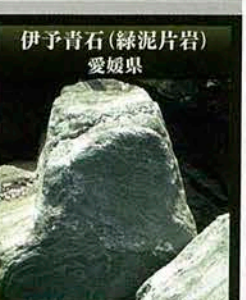
続後撰集は、藤原定家の子為家が、宝治2年(1248)後嵯峨上皇の院宣を受け、建長3年(1251)に撰集したものです。後嵯峨上皇の治世を伝える念が顕著で、温雅平淡な歌が多いことが特色であり、後の世に花実相応の和歌集と評されました。ただ、この和歌集は、仁治2年(1241)の定家死後に撰集されたもので、為家が定家の意を汲んで新勅撰集からはずされた後鳥羽・順徳両院の歌を撰んだと考えられています。

金葉集 きんようしゅう

続後撰集 しくごせんしゅう

展示場所・ 使用石材例

国の史跡及び名勝指定地に配慮し、計画地の歴史、風土との調和融合をはかり、石材は京都を中心に全国から銘石を集め、各地区のもつ風景や設置場所の特性を活かすよう、石を選定しました。

展示場所名	歌集名／歌数 []内・■は女性歌人	歌碑基数	現況	特性	使用石材例
亀山地区	 古今集 11 [2] 拾遺集 14 [5] 後拾遺集 24 [1]	49基	■ 明治43年(1910)葛野郡の事業として都市計画公園として約8haが開設され園内にはサクラ、モミジ類が多く、行楽である。 ■ 緩やかな丘陵地であり、起伏に富んだ 【植生】 拾遺集 [カシ類、ウメなど] 後拾遺 古今集 [サクラ類、モミジ類、アジサイなど]	て「亀山公園」を開設、昭和33年(1958)にた府内でも歴史ある公園である。時には地元の方や観光客が多く訪れる名所 景観が楽しめる。 集 [サクラ類、モミジ類など] サイなど	地形・景観の活用   
長神の杜地区	 新古今集 14 [3] 詞花集 5 [1]	19基	■ 小倉山の麓に立地し、二尊院、常寂観光客が多く訪れる。 ■ 京都市の古都保存事業用地で、現況完成している。 【植生】 新古今集 [スギ、ダイスギ、ウメ、イロハモミジなど] 詞花集 [スギ、ダイスギ、イロハモミジなど]	光寺に囲まれた由緒ある場所で、の景観保全を前提にした公園整備事業が ロハモミジなど モミジなど	杉林との融合   
野々宮地区	 新勅撰集 4 しんちよせんしゅう	4基	■ 長辻通りから野宮神社に向かう観光向かいには天龍寺の竹穂垣が続く京都と与える。 ■ 京都市の古都保存事業用地である。 【植生】 新勅撰集 [イロハモミジ、ヤマザクラなど]	動線上に立地する紅葉の名所である。らしいおもむきで、いきかう人びとにやすらぎを	紅葉・竹林との調和   
奥野々宮地区	 後撰集 7 ごせんしゅう	7基	■ 竹林の小径が続く、嵯峨野らしい風情野宮神社が立地し、観光客が多く訪れる。 ■ 京都市の古都保存事業用地である。 【植生】 後撰集 [マダケ、イロハモミジ、サクラ類など]	ゆたかな場所であり、向かいにはれる。	竹林との調和   
嵐山東地区	 千載集 2 せんざいしゅう 金葉集 5 [3] きんようしゅう 続後撰集 14 [5] しょくごせんしゅう	21基	■ 北は嵐山渡月橋、南は松尾大社に向地域住民の憩いの場として賑わう。 ■ 眼前に愛宕山が同え、園内は視線がせせらぎ水路、修景地がある水辺空間 【植生】 続後撰集「クスノキ、ヤマザクラ 金葉集 [クロマツ、アラカシ、千載集 [アスナロ、ヒマラヤスギ、	かう河川敷公園は、多くのスポーツ愛好家や通り、開放的な空間である。 である。 など サクラ類など アラカシ、サクラ類、トウカエデなど	川との調和   

※個々の設置場所に馴染んだ石材を配置し、歌集別の分類は行わない。

3 各地区の施工

(1) 亀山地区

① 現地の状況

亀山地区が位置する嵐山公園は、明治時代の太政官布達により整備された公園で、京都府の公園施設として人々に親しまれています。

公園内は起伏の多い地形とサクラ、モミジをはじめとした四季折々の既存樹が多いことが特徴です。



サクラの名所



モミジの名所

② 施工計画

立地環境としては、起伏の多い地域でもあるので、現地を綿密に調査し、自然の環境をうまく活かしながら歌碑配置の施工計画を立案しました。施工にあたってはまず、資材の搬入路の整備を行い、さらに石材搬入時に既存樹の枝が折れないよう保護策として、モミジなど枝が広がる樹種に枝しぼり（枝を束ねる作業）をするなど現状の保全を図りながら、園路整備、石の据えつけ、字彫りと進め完成させました。

また、観光客が増加するサクラの開花期とゴールデンウィークは工事を中断するなど、地元の方々との連携も図りながら安全面に配慮しました。

③ 歌碑の据えつけ

亀山地区には場所の広さに比例して7tを超える甲州鞍馬石や、4tを超える小松石などの比較的大きな石を配置しました。斜面地には、地形の勢いを感じさせるように荒々しい形の石を、平坦地には、安定感があるように、裾広がりや重量感がある形の石を用い、周囲との融合を図りました。

また、同じような石材を用いると単調な景観となるため、多種の自然石を使用し、変化のある景観を創出するようにしました。

亀山地区の所々には、既存の石が露出しており、歌碑もそれに劣らぬよう、自然な雰囲気が漂うように心がけて据えつけました。



歌碑の据えつけ

さんまた
三叉を使った据えつけ

手作業での調整

④ 歌の彫り込み

字彫りは、設置歌碑49首のうち、13首は四国の工場で、残り36首は現場で彫りました。

四国の工場彫りは、すべてが花崗岩で、比較的彫りやすく、字も鮮明に仕上がりましたが、現場彫りの貴船石や鞍馬石などは、天然の凹凸ある石を傾斜のある斜面地で直に彫るため、高度な技術と相当の作業時間を要しました。

また周辺に石の粉塵が飛び散らないよう、夏場でもテントを張り、その中で彫るなど苦悩な作業現場となりました。



現場彫り

⑤ 植栽

亀山地区では、周辺の自然景観に配慮し、風景に馴染んだ植栽が望まれました。また、3集ある歌集をうまく仕切るために、植栽により、結界性をやわらかく演出し、違和感なく散策できるよう配慮しました。使用植栽は、なるべく地域に根ざした植物にあわせ、モチツツジやアセビを使用し、既存の風景に調和するように整備しました。



アセビの植えつけ

11章

事業PR活動

歌碑の実物展示（平成19年1月17日～4月28日）

歌碑建立事業のPR及び寄付金募集活動のさらなる推進のため、歌碑の実物展示を行いました。

〔展示場所〕新風館北側
（京都市中京区烏丸通姉小路東入ル）

〔展示物〕歌碑実物展示 1基

〔歌人〕式子内親王（百人一首89番）

〔和歌〕玉のをよ
たえなばたえね ながらへば
忍ぶことの 弱りもぞする

〔揮毫〕日比野光鳳



歌碑建立事業のPR映像を放映（平成19年11月～12月）



小倉百人一首歌碑建立事業完成後、制作したDVDを大型ビジョンに放映。毎日定期的に映像が流れました。

〔放映場所〕新風館内 大型ビジョン
（京都市中京区烏丸通姉小路東入ル）

京都・嵐山花灯路2007（平成19年12月8日～17日）

「嵯峨・嵐山古典文学の香りー長神の杜」

3回目を迎える京都・嵐山花灯路(平成19年12月8日～17日)では、長神の杜地区の歌碑19基をライトアップし、本事業期間中、PRいたしました。



パンフレット



DVD



〔録画時間〕13分

〔製作〕(財)小倉百人一首文化財団
京都商工会議所

〔協力〕京都府 京都市
(社)企業メセナ協議会
(独)情報通信研究機構
(社)全日本かるた協会
京都新聞出版センター
(株)大石天狗堂

携帯コンテンツ

独立行政法人情報通信研究機構の協力を得て、日本語・英語・中国語・韓国語の4ヶ国語で百人一首の歌碑巡りが楽しめるコンテンツを開発し、将来にわたり外国人観光客にも百人一首の歴史や歌碑事業を紹介できる携帯端末を使ったサービスをつくりました。

使い方としては歌碑に設置している歌の説明板のQRコードを携帯電話で読み取ることで、和歌や歌人の詳細な説明、歌の朗詠データの再生、カルタの画像の表示などが楽しめます。また、和歌の検索機能を使うことで(地区から検索、勅撰和歌集から検索)、行きたい歌碑の場所がわかります。

歌碑巡りマップ



携帯電話で歌碑巡りサイトをチェック

〔QRコードの使用方法〕

右のQRコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み込んで、歌碑巡りの携帯サイトにアクセスしてください。(以下のURLの直接入力でもアクセスできます。)
地図や各歌の詳細を閲覧いただくことができ、音声(歌の朗詠)も再生できます。
※一部、使用できない機種があります。



www.ogura100nin1shu.jp/



●歌碑に設置された説明板からも歌碑ごとの情報にアクセス可能!

(技術協力/独)情報通信研究機構

